

大磯町の統一的な基準による財務書類（令和３年度 一般会計等）概要

① 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は会計年度末時点において町の資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側に負債及び資産と負債の差額である純資産を表示しています。

資産の部（これまで積み上げてきた資産）			負債の部（将来世代が負担する金額）		
1 固 定 資 産	(1) 事業用資産 庁舎、学校、保育所、体育館、 町営住宅、地区集会所など	168億4,722万円	1 固 定 負 債	(1) 地方債	78億3,266万円
				(2) 退職手当引当金	23億239万円
	(2) インフラ資産 道路、公園、橋梁、上下水道など	222億6,261万円		(3) その他の固定負債	2億2,590万円
	(3)物品、ソフトウェアなど	1億9,100万円	2 流 動 負 債	(1) １年以内償還予定地方債	7億134万円
	(4)投資その他の資産	37億1,155万円		(2) その他の流動負債	1億6,842万円
			負債合計		112億3,071万円
2 流 動 資 産	(1) 現金預金	8 億4,689万円	純資産の部（現在までの世代が負担した金額）		
	(2) 基金、未収金など	15億2,155万円	純資産合計		341億5,011万円
資産合計		453億8,082万円	負債及び純資産合計		453億8,082万円

④ 資金収支計算書

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて区分して表示することで、町がどのような活動に資金を必要としているかを表示しています。

前年度末資金残高（繰越金）		6 億1,691万円
本年度資金収支額		2 億678万円
1	業務活動収支 税金、国県等補助金、人件費など	13億1,492万円
2	投資活動収支 公共施設等整備費支出、国県等補助金など	△14億5,077万円
3	財務活動収支 地方債等発行、償還など	3 億4,263万円
本年度末歳計外現金残高（預り金）		2,320万円
本年度末現金預金残高		8 億4,689万円

③ 純資産変動計算書

町の純資産（資産から負債を引いた残り）が年度内にどのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したかの情報を表示しています。

前年度末純資産残高	335億8,766万円
本年度変動高	5 億6,245万円
△純行政コスト	△94億9,377万円
財源 （町税、地方交付税、 国県等補助金）	106億5,868万円
資産形成への充当	△ 6 億246万円
本年度末純資産残高	341億5,011万円

令和３年度大磯町の資産と負債の状況

①**住民１人当たりの資産と負債残高**（令和4年1月1日現在人口 32,464 人）

資産＝ 140万円 負債＝ 35万円

②**純資産比率（今までの世代の負担済分）・・・** **75.3%**

社会資本に対する、現在までの世代がすでに負担している割合（社会資本形成の世代間比率）【純資産／総資産】

③**有形固定資産減価償却率（資産の老朽割合）・・・** **62.6%**

償却資産の耐用年数に対して、取得からどの程度経過しているか把握する割合【減価償却累計額／取得価額】

※ 令和３年度末現在：償却資産取得価額等： 228億235万円 減価償却累計額： 142億6,859万円

④**負債比率（資産合計に対する負債の割合）・・・** **24.7%**

この比率が低いほど財政状況が健全であることを示します。

令和３年度大磯町の資金収支の状況

① **業務活動収支** **13億1,492万円** ⇒ **堅調な財政運営**

② **投資活動収支** **△14億5,077万円**（**基金積立、資産形成**）

③ **財務活動収支** **3 億4,263万円**（**公共施設整備の財源調達**）

①～③の合計である令和３年度の資金収支は **2 億678万円**

本年度末純資産残高は 8 億2,369万円

本年度末現金預金残高は 8 億4,689万円

② 行政コスト計算書

町の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

経常費用	101億2,008万円
人件費 人件費、退職手当引当金繰入など	24億1,213万円
物件費等 物件費、減価償却費、維持補修費など	27億4,279万円
その他の業務費用 支払利息など	2 億7,523万円
移転費用 補助金等、社会保障給付、他会計繰出金など	46億8,993万円
経常収益	5 億6,027万円
純経常行政コスト （経常費用－経常収益）	95億5,981万円
臨時損失 災害復旧費など	1,743万円
臨時利益 資産売却益など	8,347万円
純行政コスト （純経常行政コスト+臨時損失－臨時利益）	94億9,377万円

● 「統一的な基準」に基づく財務書類の公表について

大磯町では、町民の皆さんに町の財政状況をよりよく理解していただくため、平成28年度決算から国が示す「統一的な基準」に基づいた地方公会計財務書類４表（①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書）を作成し公表しています。

● 令和３年度の財政運営について（総括）

令和２年度と比較すると、資産は約10億３百万円の増加、負債は約４億40百万円の増加、純資産は約５億62百万円の増加となっています。結果として、将来世代の資源となる純資産が増加したことから、令和３年度は、将来世代が使用できる資源を積み上げられたことになります。

コスト面では、純行政コストが前年より20.6%の減となりました。これは前年の純行政コストに新型コロナウイルス感染症に係る定額給付金が含まれていましたが、今年度は事業終了に伴い含まれてないためです。その他の経費を含め、令和４年度以降はより一層コストの縮減を意識し、健全な財政運営に努めます。

問い合わせ
大磯町 政策総務部 財政課
〒255-8555
神奈川県中郡大磯町東小磯183
電話：0463-61-4100
FAX：0463-61-1991

大磯町の統一的な基準による財務書類（令和３年度 全体会計）概要

① 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は会計年度末時点において町の資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側に負債及び資産と負債の差額である純資産を表示しています。

資産の部（これまで積み上げてきた資産）			負債の部（将来世代が負担する金額）		
1 固 定 資 産	(1) 事業用資産 庁舎、学校、保育所、体育館、 町営住宅、地区集会所など	168億4,722万円	1 固 定 負 債	(1) 地方債	169億8,617万円
				(2) 退職手当引当金	23億1,674万円
	(2) インフラ資産 道路、公園、橋梁、上下水道など	410億1,789万円		(3) その他の固定負債	86億7,110万円
	(3)物品、ソフトウェアなど	13億8,986万円	2 流 動 負 債	(1) 1年以内償還予定地方債	12億3,976万円
	(4)投資その他の資産	44億1,528万円		(2) その他の流動負債	6 億44万円
			負債合計		
			298億1,421万円		
2 流 動 資 産	(1) 現金預金	16億1,575万円	純資産の部（現在までの世代が負担した金額）		
	(2) 基金、未収金など	18億932万円	純資産合計		
			372億8,111万円		
資産合計			負債及び純資産合計		
			670億9,532万円		

④ 資金収支計算書

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて区分して表示することで、町がどのような活動に資金を必要としているかを表示しています。

前年度末資金残高（繰越金）		10億5,522万円
本年度資金収支額		5 億3,733万円
1 業務活動収支		17億3,311万円
収税、国県等補助金、人件費など		
2 投資活動収支		△19億3,182万円
公共施設等整備費支出、国県等補助金など		
3 財務活動収支		7 億3,604万円
地方債等発行、償還など		
本年度末歳計外現金残高（預り金）		2,320万円
本年度末現金預金残高		16億1,575万円

③ 純資産変動計算書

町の純資産（資産から負債を引いた残り）が年度内にどのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したかの情報を表示しています。

前年度末純資産残高	363億6,677万円
本年度変動高	9 億1,434万円
△純行政コスト	△156億1,203万円
財源	
（町税、地方交付税、国県等補助金）	168億8,945万円
資産形成への充当	△ 6 億246万円
その他	2 億3,938万円
本年度末純資産残高	372億8,111万円

令和３年度大磯町の資産と負債の状況

①住民１人当たりの資産と負債残高	（令和4年1月1日現在人口 32,464 人）
資産＝ 207万円	負債＝ 92万円
②純資産比率（今までの世代の負担済分）・・・	55.6%
社会資本に対する、現在までの世代がすでに負担している割合（社会資本形成の世代間比率）【純資産／総資産】	
③有形固定資産償却率（資産の老朽割合）・・・	35.9%
償却資産の耐用年数に対して、取得からどの程度経過しているか把握する割合【減価償却累計額／取得価額】	
※ 令和３年度末現在：償却資産取得価額等： 425億7,604万円 減価償却累計額： 152億9,330万円	
④負債比率（資産合計に対する負債の割合）・・・	44.4%
この比率が低いほど財政状況が健全であることを示します。	

令和３年度大磯町の資金収支の状況

① 業務活動収支	17億3,311万円	⇒ 堅調な財政運営
② 投資活動収支	△19億3,182万円	（基金積立、資産形成）
③ 財務活動収支	7 億3,604万円	（公共施設整備の財源調達）
①～③の合計である令和３年度の資金収支は	5 億3,733万円	
本年度末純資産残高は	15億9,255万円	
本年度末現金預金残高は	16億1,575万円	

② 行政コスト計算書

町の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

経常費用	167億3,474万円
人件費	
人件費、退職手当引当金繰入など	25億2,345万円
物件費等	
物件費、減価償却費、維持補修費など	35億177万円
その他の業務費用	
支払利息など	5 億3,759万円
移転費用	
補助金等、社会保障給付、他会計繰出金など	101億7,193万円
経常収益	10億5,667万円
純経常行政コスト	
（経常費用－経常収益）	156億7,807万円
臨時損失 災害復旧費など	1,743万円
臨時利益 資産売却益など	8,347万円
純行政コスト	
（純経常行政コスト+臨時損失－臨時利益）	156億1,203万円

● 「統一的な基準」に基づく財務書類の公表について

大磯町では、町民の皆さんに町の財政状況をよりよく理解していただくため、平成28年度決算から国が示す「統一的な基準」に基づいた地方公会計財務書類４表（①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書）を作成し公表しています。

● 令和３年度の財政運営について（総括）

令和２年度と比較すると、資産は約18億５百万円の増加、負債は約８億91百万円の増加、純資産は約９億14百万円の増加となっています。これらの増減については、下水道事業のインフラ資産等の増加が主な要因と考えられます。

コスト面では、純行政コストが前年より13.8%の減となりましたが、これは一般会計等と同様に、新型コロナウイルス感染症に係る定額給付金の影響によるものと考えられます。今後も引き続き新型コロナウイルス感染症対策経費をはじめとした様々な経費の増大が懸念されます。令和４年度以降はより一層コストの縮減を意識し、健全な財政運営に努めます。

問い合わせ
大磯町 政策総務部 財政課
〒255-8555
神奈川県中郡大磯町東小磯183
電話：0463-61-4100
FAX：0463-61-1991

※表中、表示単位未満は四捨五入のため合計が一致しない場合があります。

大磯町の統一的な基準による財務書類（令和３年度 連結会計）概要

① 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は会計年度末時点において町の資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側に負債及び資産と負債の差額である純資産を表示しています。

資産の部（これまで積み上げてきた資産）			負債の部（将来世代が負担する金額）		
1 固 定 資 産	(1) 事業用資産 庁舎、学校、保育所、体育館、 町営住宅、地区集会所など	168億4,722万円	1 固 定 負 債	(1) 地方債	176億7,453万円
	(2) インフラ資産 道路、公園、橋梁、上下水道など	410億1,789万円		(2) 退職手当引当金	23億1,864万円
	(3)物品、ソフトウェアなど	13億9,121万円		(3) その他の固定負債	86億7,169万円
	(4)投資その他の資産	45億941万円	2 流 動 負 債	(1) １年以内償還予定地方債	12億3,976万円
				(2) その他の流動負債	6 億142万円
			負債合計		305億604万円
2 流 動 資 産	(1) 現金預金	17億3,182万円	純資産の部（現在までの世代が負担した金額）		
	(2) 基金、未収金など	25億2,109万円	純資産合計		375億1,260万円
資産合計		680億1,864万円	負債及び純資産合計		680億1,864万円

④ 資金収支計算書

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて区分して表示することで、町がどのような活動に資金を必要としているかを表示しています。

前年度末資金残高（繰越金）		12億6,502万円
本年度資金収支額		4 億4,314万円
1	業務活動収支	16億8,570万円
	税収、国県等補助金、人件費など	
2	投資活動収支	△19億7,774万円
	公共施設等整備費支出、国県等補助金など	
3	財務活動収支	7 億3,518万円
	地方債等発行、償還など	
比例連結割割合変更に伴う差額		44万円
本年度末歳計外現金残高（預り金）		2,322万円
本年度末現金預金残高		17億3,182万円

③ 純資産変動計算書

町の純資産（資産から負債を引いた残り）が年度内にどのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したかの情報を表示しています。

前年度末純資産残高	366億4,662万円
本年度変動高	8億6,598万円
△純行政コスト	△204億9,871万円
財源	
（町税、地方交付税、国県等補助金）	217億2,752万円
資産形成への充当	△ 6 億246万円
比例連結割割合変更に伴う差額	144万円
その他	2 億3,819万円
本年度末純資産残高	375億1,260万円

令和３年度大磯町の資産と負債の状況

①**住民１人当たりの資産と負債残高**（令和4年1月1日現在人口 32,464 人）

資産＝ 210万円 負債＝ 94万円

②**純資産比率（今までの世代の負担済分）・・・** **55.2%**

社会資本に対する、現在までの世代がすでに負担している割合（社会資本形成の世代間比率）【純資産／総資産】

③**有形固定資産償却率（資産の老朽割合）・・・** **35.9%**

償却資産の耐用年数に対して、取得からどの程度経過しているか把握する割合【減価償却累計額／取得価額】

※ 令和３年度末現在：償却資産取得価額等： 425億7,604万円 減価償却累計額： 152億9,330万円

④**負債比率（資産合計に対する負債の割合）・・・** **44.8%**

この比率が低いほど財政状況が健全であることを示します。

令和３年度大磯町の資金収支の状況

① 業務活動収支 **16億8,570万円** ⇒ **堅調な財政運営**
② 投資活動収支 △**19億7,774万円** **（基金積立、資産形成）**
③ 財務活動収支 **7 億3,518万円** **（将来世代の負担の軽減）**
①～③の合計である**令和３年度の資金収支は 4 億4,314万円**
 本年度末純資産残高は 17億816万円
 本年度末現金預金残高は 17億3,182万円

② 行政コスト計算書

町の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

経常費用	216億2,661万円
人件費	
人件費、退職手当引当金繰入など	25億2,601万円
物件費等	
物件費、減価償却費、維持補修費など	36億1,917万円
その他の業務費用	
支払利息など	6億6,269万円
移転費用	
補助金等、社会保障給付、他会計繰出金など	148億1,874万円
経常収益	10億6,186万円
純経常行政コスト	
（経常費用－経常収益）	205億6,475万円
臨時損失 災害復旧費など	1,743万円
臨時利益 資産売却益など	8,347万円
純行政コスト	
（純経常行政コスト+臨時損失－臨時利益）	204億9,871万円

● 「統一的な基準」に基づく財務書類の公表について

大磯町では、町民の皆さんに町の財政状況をよりよく理解していただくため、平成28年度決算から国が示す「統一的な基準」に基づいた地方公会計財務書類４表（①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書）を作成し公表しています。

● 令和３年度の財政運営について（総括）

令和２年度と比較すると、資産は約17億57百万円の増加、負債は約８億90百万円の増加、純資産は約８億66百万円の減少となっています。これらの大幅な増減については、全体会計同様、下水道事業のインフラ資産等の増加が主な要因と考えられます。

コスト面では、純行政コストが前年より9.5%の減となりましたが、これは一般会計等及び全体会計と同様に、新型コロナウイルス感染症に係る定額給付金の影響によるものと考えられます。今後も引き続き新型コロナウイルス感染症対策経費をはじめとした様々な経費の増大が懸念されます。令和４年度以降はより一層コストの縮減を意識し、健全な財政運営に努めます。

問い合わせ
大磯町 政策総務部 財政課
〒255-8555
神奈川県中郡大磯町東小磯183
電話：0463-61-4100
FAX：0463-61-1991

※表中、表示単位未満は四捨五入のため合計が一致しない場合があります。